

トマト病害防除について（秋期）

令和3年10月 J A全農ちば 営農技術普及援課

天候不順と防除について

秋雨等により 多湿が続くことで、多くの病害が発生しやすくなります。⇒葉かび・すすかび・うどんこ・疫病・灰色かび病 など

また薬剤が乾きにくく薬害が生じやすくなるので、散布タイミングがとりにくくなります。やむなく天候不順時に散布するとしましても、午前中・雨が止んでいる時間帯・換気が可能な時間帯など、より乾きやすい条件が揃うタイミングを選びましょう。

各病害について

1. 葉かび・すすかび病

病害の発生は湿度が必要。発生する前から防除（予防）することが基本にしてもっとも効果的な対策。また薬剤を散布しても葉かきや施設内環境を改善しないかぎりには効果があがらない（伝染源が消えない、感染の好適環境が続く）。



葉かび病

すすかび病

- ・ 発病初期は葉の表側にぼんやりとした黄色い斑点がみられる。この症状が現れるまでに感染から14日以上経過している。さらに孢子（カビ）が発生し、拡大する。下位葉に病斑が見られた場合、中位葉まで感染している可能性がある。
- ・ 気温20～25℃で通風が悪く、湿度90%以上の時最も発病しやすい。
- ・ 葉かび病が発生したらできるだけ早めに下葉かきを行い、株元の通風をはかる。
- ・ すすかび病は葉かび病と比較すると中～下位葉に多く被害が出る。また病斑はやや平べったい。

薬剤面では葉かび・すすかび・灰色かび病は予防・治療剤共に共通であることが多いため同時防除を考える。

【予防剤（汎用的）】混合剤に含まれている成分も多いので回数に注意。

ベルコートフロアブル、ダコニール1000、ペンコゼブ（ジマンダ他）フロアブル
SDHI剤（アフェットフロアブル・カンタストライフロアブル）

【治療剤（汎用的）】

QoI剤（アミスター20フロアブル・ファンタジスタ顆粒水和剤等）、
DMI剤（トリフミン水和剤等）、QoI・SDHI混合剤シグナムWDG

2. 疫病

伝染源は土壌もしくは疫病が発生した残さ。その後水滴などの水を得ると感染する。特にハウス谷換気部分など、水滴が落ちる箇所は疫病が発生しやすい。感染～発病までが数時間と極めて短いため、発生後の対策になりがち。

【予防剤】 ランマンフロアブル

【治療剤】 プロポーズ顆粒水和剤、リドミルゴールドMZ、
レーバスフロアブル、フェスティバルC水和剤

3. 灰色かび病

・傷・葉先枯れ・花落ちなど枯れた組織から発生する。通路などの残さを片付ける。
・誘因・芽かきなどの傷から樹そのものに発生すると被害が大きいので、これら作業は傷が乾きやすい天候（曇りを避けるなど）・時間帯を意識して実施する。また、薬剤散布のタイミングが重なるならば、芽かき作業後に散布する。

・10月以降、閉め切り＋暖房開始後は発生しやすいので、早めに予防を行う。

【予防剤】 フルピカフロアブル、セイビアーフロアブル、ピクシオDF

【治療剤】 ロブラール水和剤、ゲッター水和剤

4. うどんこ病

・表生型 (*Oidium neolycopersici*)、内生型 (*Oidiopsis* sp.) の2種類がいる内生型は菌が内部に寄生するので表面のカビを落としても止まらない。

・表生型は20～28℃、内生型は18～25℃が適温で、内生の方がやや低温を好む。感染～発病まで表生型は6～8日、内生型は16～21日。

・表生型は葉の表からも侵入するが、内生型は主に葉裏の気孔から侵入する。内生型は侵入前の防除が重要だが、葉裏まで薬剤がかかると効果は出ない。

【予防剤】：ベルコートフロアブル、アフエットフロアブル

【治療剤】：パンチョTF顆粒水和剤、シグナムWDG
ショウチノスケフロアブル

【他・予防剤】：イオウフロアブル、ただし汚れ・葉が固くなるなどの影響アリ



トマト主要殺菌剤の特性

同一成分を含む混合剤の成分総使用回数に注意する。太字部分

令和3年7月 JA全農ちば 営農支援部

薬剤系統もしくは成分名	FRAC コード	農薬名	希釈倍数 ※1	使用前 日数	使用 回数	成分 使用回数	対象病害への登録の有無						特性				薬害・注意点
							葉かび	すすかび	灰色かび	うどんこ	疫病	輪紋	予防	治療	浸透移行性	残効性	
有機塩素系 (TPN)	M5	ダコニール1000	1000	前日	4回	ダコニール4回	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	混合剤
+ その他	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000	前日	3回		○				○		◎	○	△	○	
有機塩素系 (キャプタン)	M4	オーソサイド水和剤80	800	前日	5回	5回	○		○		○		○	×	×	○	
			800・2ℓ/m ²	播種後 2~3葉期			苗立ち枯れ病										
有機硫黄系 (マンゼブ)	M3	ペンコゼブフロアブル (ジマンダイセン)	1000	前日	2回	ペンコゼブ・ジマンダイセン 2回	○	○			○	○	○	×	×	○	高温多湿時に薬害 (苗時)
+ シモキサニル	27+M3	カーゼートPZ水和剤	1000	前日	2回		○				○		○	○	○	○	混合剤
+ メタラキシル	4+M3	リドミルゴールドMZ	1000	前日	2回		○				○		○	○	○	○	混合剤
DMI 剤 (EBI剤)	3	トリフミン水和剤	3000	前日	5回	トリフミン5回	○	○					○	○	○	○	トリフミン+うどんこ剤
+ その他	3+U6	パンチョTF顆粒水和剤	2000	前日	2回		○			○			○	○	○	○	
アニリノピリミジン系	9	フルピカフロアブル	2000	前日	4回	ガッテン2回・フルピカ4回			○				○	×	×	○	ガッテン+フルピカ
+ アニリノピリミジン系	U13+9	ショウチノスケフロアブル	2000	前日	2回				○	○			○	○	△	○	
ヒドロキシアニリド系	17	ピクシオDF	2000	前日	4回	4回			○				○	△	△	○	
フェニルピロール系	12	セイビアーフロアブル20	1000	前日	3回	3回			○				○	△	△	○	
ベンゾイミダゾール系	1	トップジンM水和剤	1500	前日	5回	トップジン5回	○		○				○	△	○	○	
+ N-フェニルカーバメート系	1+10	ゲッター水和剤	1000	前日	5回		○		○				○	○	○	○	
ジカルボキシイミド系	2	ロブラール水和剤	1000	前日	3回	3回			○			○	○	○	×	○	
QoI 剤	ストロビルリン系	11	アミスター20フロアブル	2000	前日	4回	4回	○		○			○	○	◎	○	単剤使用、展着剤不可
	ベンジルカーバメート系	スクレアフロアブル	2000	前日	3回	3回							○	△	○	○	展着剤不可
		ファンタジスタ顆粒水和剤	2000	前日	3回	3回	○	○	○				○	△	○	○	
SDHI 剤	7	カンタスドライフロアブル	1000	前日	3回	3回	○		○				○	△	△	○	
	アフエットフロアブル	2000	前日	3回	3回	○	○	○	○			○	△	△	○		
	パレード20フロアブル	2000	前日	3回	3回	○	○	○	○			○	△	△	○		
シアノイミダゾール系	21	ランマンフロアブル	1000	前日	4回	4回					○		○	×	×	○	疫病専用
グアニジン系	M7	ベルクートフロアブル	2000	前日	3回	ベルクート3回・プロパティ2回	○	○	○	○			○	×	×	○	ベルクート+プロパティ
その他	M7+50	ラミック顆粒水和剤	1000	前日	2回		○	○	○	○			○	○	△	○	
その他	50	プロパティフロアブル	3000	前日	2回					○			○	○	△	○	
抗生物質	19	ポリオキシNAL水和剤	1000	前日	3回	3回	○		○				○	○	○	△	
+ 無機銅剤	24+M1	カスミンボルドー	1000	前日	5回	5回	○				○	○	○	○	△	○	
その他	40	レーバスフロアブル	1500	前日	3回	3回					○		○	○	△	○	疫病専用

※1 対象病害の登録中、最大希釈倍数・使用量を記載している。(例:葉かび1000倍、灰色かび1000~2000倍 ⇒ 1000倍)

※2 実際の使用にあたっては再度表示ラベルを確認し、使用基準を遵守する。

その他薬剤特性

- ① シグナムWDG 成分:ボスカリド(カンタス、予防・弱治療)+ピラクルストロビン(QoI剤、治療剤)
- ② ホライズンフロアブル 成分:シモキサニル(疫病治療剤)+ファモキサドン(疫病予防剤)
- ③ ジャストミート顆粒水和剤 成分:フルジオキシニル(セイビアー、灰色かび予防・弱治療剤)+フェンヘキサミド(灰色かび予防剤、ぶどう等で使用される成分)